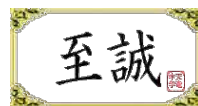


学校だより 第10号

天中通信



令和7年2月17日
浜松市立天竜中学校



立春を迎え、朝日が早く昇るようになってきました。本当の春はまだ先ですが、これから寒暖を繰り返しながら徐々に暖かくなっていくと思われます。

3月5日、6日には、いよいよ公立入試を迎えます。3年生の皆さんは、自分の力を信じて、入試という大舞台で存分に力を発揮してほしいと思います。

1、2年生は、新年度早々に計画されている「野外活動」「修学旅行」に向けて準備を進めています。どの学年も「新しいスタート」を切るための大切な期間となります。この1か月半を充実させることが、新年度のよいスタートにつながります。ご家庭でも学校の様子や進路のことを話題にさせていただき、「新しいスタート」へ向けて準備をお願いいたします。



熱中！部活動

- 【サッカー部】 一年生大会 県大会 1回戦 2-3 高須・大洲
読売カップ 予選リーグ1回戦 7-0 佐鳴台
- 【男子ソフトテニス】 1年生大会 団体戦 予選リーグ 0-3 北星 2-2 神久呂
決勝T 0-2 浜北北部
- 【女子ソフトテニス】 1年生大会 団体戦 予選リーグ 3-0 江南 3-0 北星
決勝T 2-0 引佐南部 2-1 浜松東部 0-3 笠井 1-2 開成
2-1 入野 **第7位**
- 【男子卓球】 1年生大会 団体戦 予選リーグ 1-3 与進 3-1 引佐南部
決勝T 2-3 篠原
- 【女子卓球】 1年生大会 団体戦 予選リーグ 0-3 北浜 3-0 光が丘 2-3 北星
- 【男子バレー】 1年生大会 湖東（勝） 新津（勝） 可美（勝） 浜松南部B（勝） 修学舎（負）
開成（負） 浜松南部A（負）
- 【女子バレー】 1年生大会 蜷塚（勝） 曳馬（勝） 庄内（負） 積志（負） 浜北北部（負）
- 【読書感想文】 高塚朱里 静岡県読書感想文コンクール **特選**



バリアフリー化整備工事

現在、天竜中学校の体育館、南校舎でバリアフリー化整備工事が行われています。体育館入口のスロープ、南校舎入口のスロープ、南校舎階段の手すり等の工事が行われています。そのため、場所により通行禁止等不便をかけています。2月の末にはすべて完成の予定です。もうしばらくお待ちください。



- | | | | |
|--------|-----------------------|--------|------------|
| 5日（火） | 公立高校入試 | 16日（日） | 吹奏楽定期演奏会 |
| 6日（水） | 公立高校入試 | 17日（月） | 修了式・卒業式総練習 |
| 12日（水） | 3年生を送る会 | 18日（火） | 卒業式 |
| 13日（木） | 3年生給食終了 | 28日（金） | 離任式 |
| 14日（金） | 公立高校合格発表
1・2年生給食終了 | | |



2月3日（月） 朝会 校長講話

イチロー選手は1992年日本のプロ野球球団のオリックスに入団、1999年には史上最速で1000本安打を達成しました。2000年日本プロ野球記録の7年連続首位打者に輝いた後、アメリカのメジャーリーグに挑戦、マリナーズの選手となりました。翌年には首位打者、MVP リーグ最優秀選手、新人王、2004年には84年ぶりに大リーグの記録を破るシーズン262本安打を達成しています。この記録は未だに破られていません。その後、2006年と2009年にはワールドベースボールクラシックWBCで、日本を金メダルに導き、2年生の皆さんが生まれた2010年には、10年連続で200本安打の記録を打ち立てました。2016年には、大リーグ3000本安打、500盗塁、日米通算4256本安打など、数々の記録を打ち立て2019年に引退をしました。



野球の記録の偉大さがよく分からない私でも、これらの記録がどれほど人間離れしたものか、これらのためにどれほどの努力を重ねてきたことか、想像をすることはできます。そして、私がイチローさんのことを素晴らしいと思う理由は、その記録だけではなく、彼が発する「言葉の力」にあります。イチローさんの言葉には、野球選手としてだけではなく、私たちが人間として成長していくために必要なヒントがたくさんあります。私がイチローさんの言葉に注目するようになった最初は、21年前の2004年メジャーリーグで最多安打記録262本を達成した記者会見で彼が語った言葉でした。「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道」、いきなり「とんでもないところに行く」ことができる人なんていない、だれにも最初の小さな一歩があって、それを積み重ねることで「とんでもないところ」に到達することができる、ということでしょう。

それから15年後、2019年の引退会見では、こんなことを語っています。「人よりも頑張るなんてことはとてもできない。あくまでも『秤（はかり）』は自分の中にある。秤を使いながら、自分の限界をちょっと超えていく。そうするといつの日かこんな自分になっているんだ。少しずつの積み重ねでしか、自分を超えていけないと思っているんですよね。一気に高みにいるとすると、今の自分とギャップがありすぎて、それを続けられない。地道に進むしかない。ある時は後退しもしない時もあるので、自分がやると決めたことを信じてやっていく。でも、それは正解とは限らない。間違ったことを続けているかもしれない。遠回りをするすることで、本当の自分に出会えると思っている。」どうですか？2004年も2019年も同じことを言っているのがわかりますか？

そして、それは、特別な偉業を成し遂げたイチロー選手だけに言えることではないのだと思います。日本の一中学生である皆さんにとっても、一中学校教員である私たち天竜中の先生たちにとっても同じ。「とんでもないところ」に到達するまで自分がやると決めた小さなことを地道に積み重ねていく。その過程では、いつも正解だけを積み重ねていけるわけではない、時には間違ったり遠回りしたりしながら、それでも自分の限界をちょっとずつ超えていく。

そして、今年1月、イチローさんは日本とアメリカの両方で、野球殿堂入りを果たしました。特にアメリカの野球殿堂入りは、日本人としてはもちろんのこと、アジア人初のことだそうです。そのインタビューの中でも、大リーガーを目指す子供たちへ「一歩ずつ進んでほしい。そこにいくためには、こつこつ進んでいかなければいけないということを知っておいてほしい」と言っています。やはり、同じことを言っていますね。



また、アメリカの野球殿堂入りは記者たちの投票で決まるそうですが、イチローさんは394人中393人の記者によって選ばれたそうです。たった1人だけ、イチローさんに投票しない人がいました。そのことも大きな話題となり、それについて訊かれたイチローさんは「すごく良かったと思う、生きていく上で不完全だから進もうとできる」と答えました。すでに「とんでもないところ」に到達したはずのイチローさんですから、「全員に投票してもらえなくて残念だ」と答えてもだれも非難はしないでしょう。でも、「不完全だから進もうとできる」という答え。彼の生き方そのものが表れています。

私はこのイチローさんの言葉を聞いて、野球とは全く関係のないあることを思い出しました。それは、世界遺産である日光東照宮の陽明門の柱のことです。陽明門は12本の柱で支えられています。その柱には渦巻の文様が彫られています。実は1本だけ文様が逆さになっています。これは「完璧なものはその瞬間から崩壊が始まる」という考え方のもと、敢えて1本だけ逆さにして、不完全な状態にしているのだそうです。これを人間に置き換えてみると「人は自分が完璧だと思ってしまうとその瞬間から努力しなくなり成長が止まる。そしていつしか後退していく」ということでしょうか。

これってイチローさんの考え方と同じだと思いませんか？イチローさんが言っていることは、何百年も前の日本人が考えたことと同じ、人が成長するために大切にしたい普遍的な考えだと思いました。

あと2か月すると皆さんもそれぞれの次の新しいステージに立ちます。そこで輝くために、「不完全だからこそ成長できる」と考え、目標を持って小さなことをこつこつと積み重ねていく、その小さなことを「自分との約束」として守ってきましょう。＜詳細は天中ブログでご確認ください＞